

実現への道筋

クライアントの中には、何かを創り上げようとしていて、その途中であなたのところにやってくる人もいます。

何かを創り出して、それを現実のものとする時には、誰でも通過することになる、はっきりとしたプロセスがあるのです。エジプト人やスーフィーの神秘化たち、多くの知恵ある人々は、基本的に同じ物を提示しています。

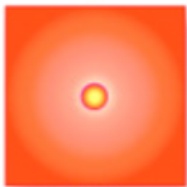
あなたは実現の道筋のどこにいますか？



0の位置：

まず、私たちは無からはじめます。無はゼロであり、まだ何も始まっていないのです。無は絶対の潜在力であり、あらゆる可能性によって振動しています。

1



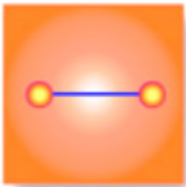
絶対

1の位置：

「点」であり、ただ一つの位置を表します。一だけでは何も意味しませんが、もう一つの点を持つと線になります。アイデアが初めて閃いたり、一つの考えが頭をよぎったのかもしれませんが。創り出したものを紙に描くとしたら、ただの点であり、「絵の中の一つの位置を表すだけのもの」でしょう。そしてこの点が始まり、つまり1の位置になるのです。

しかしこの閃きの火花は、しっかりと扇いでやらなければ消えてしまうかもしれません。

2



相対

2の位置：

「線」です。感情が伴っていると、火花はあおられて広がります。紙に描けば、これは線になります。線はアイデアの延長を表します。でも、本当は大した意味はありません。と言うのは、長さが測れないからです。距離や形について語るには、関連づける為にもう一点が必要です。

それを結び合わせると「三角形」ができます。

3



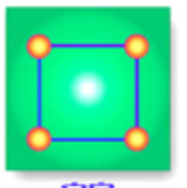
発展

3の位置：

「三角形」です。今A点とB点、B点とC点などを結ぶことが出来ます。三角形は、一つの面も与えてくれます。ここではアイデアを紙に書きつけるか、少なくとも心の目にはっきりとそのアイデアが見えている可能性があります。創り出したものが実態を持つ為には、もう一点が必要で、それによって深みを与えられ、形が生まれます。

それが「4の位置」です。

4



安定

4の位置：

ここで「計画」が形づくられます。ですから、無から始まって、今や何かが存在すると言えるわけです。しかし、まだ動きがない段階で、何らかの動きが加わるまでは、何も変化しません。そして最も強い動きとは「感情E-motion」なのです。これはエネルギーと同じことです。そこで、今や動きを伴った実体とでも呼べるものがあることとなります。

その結果「5の位置」へ進みます。

5



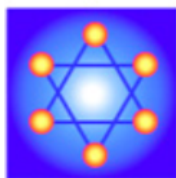
変化

5 の位置：

「動き/感情」です。これによって動きが生まれ、有意義な存在を創り出します。ここで時間の概念が現れます。時間があれば、過去・現在・未来があります。「時間」の感覚があるので、過去について考え、現在にいて、未来を夢見することもでき、経験が可能になります。

そうなると抱くようになるのは「自意識」です。

6



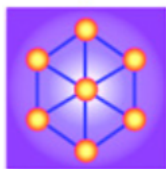
調和

6 の位置：

「自意識」です。バランスが取れていて、「勝った!」「成功した!」と感じるのは、形がハッキリと見えるものとして実現し始めたからです。舞台は整いました。芝居もリハーサルされました。しかし、私たちには過去もあり、未来については不確かです。そこで自己不信に陥る可能性があります。そうするとネガティブな独り言が始まります。

「もし、誰も来なかったらどうしよう? もし、自分が創り出したものを、誰も欲しがらなかったとしたらどうしよう? もし失敗したらどうしよう?」 自意識があるから、自分のエネルギーが失われていく経験をする可能性があります、自分を疑うようになります。そこで作られるのは「バランスの乱れ」です。

7



飛躍

7 の位置：

「バランスの乱れ」です。多くの人にとって、この時こそ正念場なのです。エネルギーは落ちていて、未来はハッキリと見通せません。そして目標があと少しで達成できるという時に、諦めてしまうのです。目標についてその価値をよく考えましょう!そして自分の計画が信頼できるなら、諦めてしまう代わりに、「どうすれば出来るのか?」をクリエイティブに考えるのです。今こそ思い切ってやってみる時です。あらかじめ決まった未来などないのですから!

「信頼」がキーワードです。そこには辿り着いていないけれど、近づいてはいるのです。

8

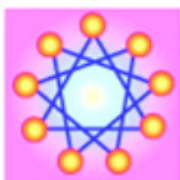


秩序

8 の位置：

「直感」です。突然考えが湧いてきたり、いきなりあるアイデアに襲われたりして、その結果エネルギーが起こり、目標に向かう姿勢が変わり、安定します。直感が宇宙の(普遍的な)思考の貯蔵庫によりつながるかも知れません。そしてインスピレーションが湧いてきて、次のステップをどうすれば良いのかについて、適切な理解を与えてくれるかも知れません。

9

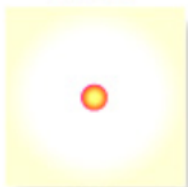


完結

9 の位置：

「態度の変化」と「安定して目標に向かう力」です。「実現することになる」と予期しているので、望んでいるものが現実に創り出されるまで、焦点がしっかりと定められてフラつきません。こうしてついには創造的に望んだことは「現実」として形になるのです。

10 → 1



完全

10 の位置：

「現実」。「無」から始まったものが「現実」となりました。あなたは望んでいた現実を創り出すために必要なことは、全てしました。今は、ただそれが起こるに任せる時です。果実が熟した時には、自然に木から落ちるものです。あなたはくつろいで、それが起こることに意欲を持つだけでいいのです。

こうして、あなたは「実現の道筋」の「0 の位置」に戻ることになります。ここからまた、「自分が望んでいる現実を創り出す旅」が始まります。